

2-2 昭和36年9月型洪水

(伊勢湾 × 0.8)

昭和36年9月型洪水(伊勢湾 × 0.8)

現況河道

築堤		
区間	築堤箇所数	延長(m)
岩出～藤崎	1.0	50
藤崎～小田	4.0	3,450
小田～五條	1.0	1,110
五條	4.0	3,680
合計	10.0	8,290
紀の川大堰区間	大堰区間の掘削 新六ヶ井堰撤去	

掘削	
区間	掘削延長(m)
藤崎～小田	200

単位:m³/s

岩出狭窄部	
流出量	6,750
最小流下能力	6,430
解消不足量	-320

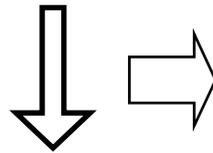
氾濫解消

昭和36年9月型洪水(伊勢湾 × 0.8)

(整備による効果)

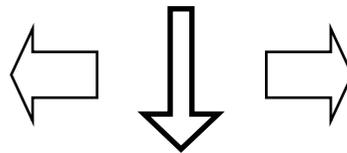
(課題)

現況河道



- ▼全川で5.65km²の氾濫
(29ブロックの内10ブロックで氾濫)
- ▼床上:1,040世帯、床下:1,420世帯
(橋本右岸中流第一、住吉川ブロックで被害大)

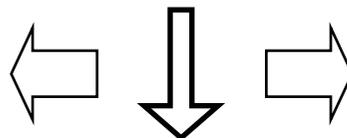
築堤 (10地区 8,290m)



- ▼狭窄部で氾濫増
- ▼五條右岸中流ブロック、九度山、慈尊院ブロックで1km以上の築堤

- 全川で4.65km²氾濫(1.00km²の減少)
- 氾濫10ブロックが4ブロックに減少
- 床上:590世帯、床下:990世帯
(床上:450世帯、床下:430世帯減)

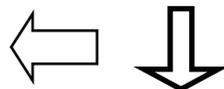
掘削(200m)



- ▼狭窄部で氾濫残
- ▼岩出井堰の対策が必要

- 全川で3.92km²氾濫(0.73km²の減少)
- 氾濫4ブロックが2ブロックに減少
- 床上:430世帯、床下:990世帯
(床上:20世帯減)

狭窄部対策 (1箇所)



- 氾濫解消

氾濫被害解消

※築堤、掘削延長:概算値